



未曾有の物価上昇で生活の危機を迎えている今こそ賃金の引き上げをはじめとした総合労働条件の向上を“みんなの力”で実現しよう

2023年01月19日 NO.11

未曾有の物価上昇で「生活苦」実感していませんか？

止まない物価高で2022年度家計への負担

価格上昇 ↑ 「9万6千円」増 ↑

みずほリサーチ&テクノロジーが公表した試算によると、物価高による2022年度の家計への影響は、2021年度と比べると年間平均9万6千円の負担増となりました。さらに2023年度は、平均で4万円の負担増が見込まれると示されています。加算するとこの2年で実に、13万6千円の負担増となります。

今後、4月までの4か月で7390品目の商品の値上げが予定されており「賃金の引き上げ」というのは避けて通れない課題だ」と述べています。

エコノミストが見通し

「物価の上昇に賃金の伸びが追いつかない状況が続く」

今年も値上げ止まらず、さらに4万円の負担増の見込み



2年間で「13万6千円」の家計負担増  
これ以上の実質賃金の低下は耐えられない!

ベアとは「物価上昇分を考慮した生活維持向上分」という性質があることは  
労使で確認してきたことであり、会社は「賃金」として反映させるべきだ!

実質賃金の低下に歯止めをかけ  
「生活の豊かさ」を実感するために

すべての仲間の力を結集させて  
2023年度賃金引き上げに勝利しよう!



「生活の豊かさ」「働きがい」「生きがい」を実感できる労働条件を私たちの手で再確立しよう!

中央本部発